

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O

2007

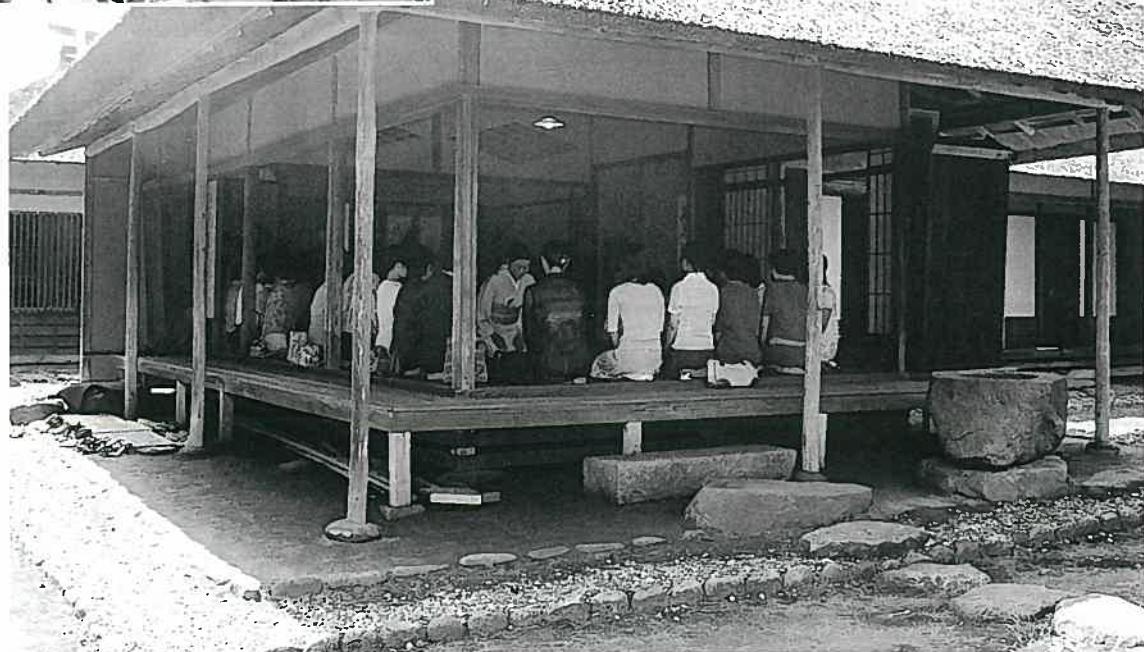
7

July

特集 野外キャンプ活動の成功策

4.5

- 2 トピックス (社)全国公民館連合会(第48回)通常総会開催される
- 3 視点 中学生に教えられる地域の活性化
- 3 ひろば 地域に灯りをともそう!
- 6 実践記録シリーズ アートキャンプin胎内2006
- 7 サークル交流 心と体の健康づくりにダンスが最適(上越市) / 韓国が知りたくて…(燕市)
- 7 素顔拝見 山田 修さん(柏崎市) / 小柳 加奈子さん(田上町)



「あやめ茶会」新発田市公民館

表紙解説 6月下旬のあやめ咲く季節に、新発田藩主もお茶を楽しんだ「五十公野御茶屋」で茶会を行っています。



(社)全国公民館連合会(第48回)

通常総会開催される

平成19年度の事業展開にあたつて

去る6月6日(水)第48回全公連通常総会が、東京・国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟会議室で開催された。当県公連からは、正会員として三保会長が、オブザーバー会員として鈴木事務局長が出席した。

当日の議事等の概要は、次のとおりである。

- ・議案第1号 平成19年度事業計画書(案)及び予算書について—監査報告—
- ・議案第2号 平成18年度事業報告書及び決算書の承認
- ・議案第3号 関東甲信越静公民館連絡協議会
- ・議案第4号 栃木県公連高橋会長
- ・議案第5号 松下誠
- ・議案第6号 松澤直太郎
- ・議案第7号 鹿熊久三
- ・議案第8号 福間敬明
- ・議案第9号 佐藤次郎
- ・議案第10号 石川正夫
- ・議案第11号 村松真貴子
- ・議案第12号 吉木靖範
- ・議案第13号 高橋昭
- ・議案第14号 松澤宣泰
- ・議案第15号 栗本裕美
- ・議案第16号 阿部俊昭
- ・議案第17号 阿部紀夫

平成19年度社団法人全国公民館連合会 役員名簿

顧問	森 喜朗	衆議院議員	
会長	松下 誠	関東甲信越静公民館連絡協議会	参与
副会長	松澤直太郎	山形県公民館連絡協議会	会長
	鹿熊 久三	富山県公民館連合会	会長
	福間 敬明	島根県公民館連絡協議会	会長
	佐藤 次郎	財團法人日本語教育振興協会	会長
常務理事	石川 正夫	社団法人全国公民館連合会	事務局長
理事	村松真貴子	エッセイスト	
	吉木 靖範	佐賀県公民館連合会	会長
	高橋 昭	栃木県公民館連絡協議会	会長
	松澤 宣泰	弁護士	
	栗本 裕美	奈良県公民館連絡協議会	会長
監事	阿部 俊昭	宮城県公民館連絡協議会	会長
	阿部 紀夫	高知県公民館連絡協議会	会長

平成19年度 功労者表彰 被表彰者

氏名	公連名
中田 孝(なかた たかし)	茨城県公民館連絡協議会
高山 修二(たかやま しゅうじ)	埼玉県公民館連合会
小澤 正一(おざわ しょういち)	千葉県公民館連絡協議会
○佐藤 俊夫(さとう としお)	新潟県公民館連合会
北 弘之(きた ひろゆき)	和歌山県公民館連絡協議会
貞末 正博(さだすえ まさひろ)	山口県公民館連合会
菅 敏雄(かん としお)	愛媛県公民館連合会
吉木 靖範(よしき やすのり)	佐賀県公民館連合会
甲斐 伴幸(かい ともゆき)	宮崎県公民館連合会
大濱 勝彦(おおはま かつひこ)	沖縄県公民館連絡協議会

一つは、個々の公民館に目を向けることの大切さ、二つは、「教育基本法」によって公民館はどう変るか、

三つは、地方公共団体関係者や地域住民の公民館に対する二つの把握四つは、都道府県公連の役

割や信頼が問われていること五つは、強いリーダーシップが全公連に期待されていること、等。

・議案第3号 任期満了に伴う役員の改選・選考委の開催、昼食休憩の役員名簿別掲のとおり

19年度功労者表彰が行われ、本県からは、加茂市公民館長佐藤俊夫様が受賞されました。被表彰者名簿は、別掲のとおりである。

・議案第4号 第30回全国公民館研究集会(栃木大会)の開催及び第31回全国公民館研究集会(高知県高知市)について等、すべての議案が承認された。なお、議事に入る前に平成19年度功労者表彰が行われ、本県からは、加茂市公民館長佐藤俊夫様が受賞されました。被表彰者名簿は、別掲のとおりである。

視 点

中学生に教えられる 地域の活性化

上越市立公民館中郷地区公民館 協力員 藤井清比古



先日、近くの中学校で授業参観の機会を得た。三年生の教室では総合学習の授業が展開されていた。

自分の住む地域の歴史や文化・産業などの課題をグループ毎に掘り起こして討議し、それらを如何に地域の活性化につなげるかプレゼンテーションの最中であった。問題解決に真剈に取り組む生徒の発言の数々に、つい足が止まり長居してしまった。

私たち公民館でも、「ふるさと再発見」をテーマにして地域づくりに取り組む活動を支援していくことも重要な使

命の一つと位置付け、生涯学習の一端を担っている。

しかし、講座などで得た知識や技術は、個人の趣味・教養を満足させることで終わっているのが現状である。辛うじて、青少年の体験活動を通して次代を担う若者のリーダーが育ちつつあることが将来に希望の持てる材料であろう。

現実を踏まえた地域活性化のプレゼンテーションを聞き、明るい未来を作ろうと知恵を出し合っている生徒諸君に心から拍手を送り教室を出た。

HOT NEWS

掲示板

全国公民館振興市町村長連盟 平成19年度理事・代議員会(総会)開催

- 1 日時 平成19年6月22日(金)午前11時開会
 2 場所 社団法人全国公民館連合会事務局会議室
 3 議事 第1号議案 平成18年度事業報告並びに収支決算について
 第2号議案 平成19年度事業計画並びに収支予算(案)について
 第3号議案 役員の改選について(下記)
 ・吉田胎内市長、副会長に就任
 第4号議案 その他

役員名簿

顧問	井原 勇	埼玉	元与野市長
会長	前田 機	宮崎	綾町長
副会長	高橋英吾	愛媛	八幡浜市長
副会长	○吉田和夫	新潟	胎内市長
理事	西澤雄一	北海道	中標津町長
	斎藤 博	埼玉	所沢市長
	森 雅志	富山	富山市長
	山出 保	石川	金沢市長
	角野幹男	山梨	昭和町長
	石原茂雄	静岡	御前崎市長
	江島 肇	山口	下関市長
	竹内洋二	岡山	総社市長
代議員	小林宏晨	秋田	上小阿仁村長
	遠藤 登	山形	天童市長
	魚津龍一	富山	朝日町長
	坂川 優	福井	福井市長
	細川義雄	石川	志賀町長
	中本富夫	山口	周防大島町長
	山岡治喜	岡山	矢掛町長
	北橋健治	福岡	北九州市長
	白石勝也	愛媛	松前町長
	時枝正昭	大分	宇佐市長
監事	竹内洋二	岡山	総社市長
	角野幹男	山梨	昭和町長

地域に灯りをともそう!

聖籠町公民館運営審議会委員 齋藤 和弘

昨年末、商工会青年部で「地域に灯りをともそう!」と題して、聖籠町公民館前の広場に、高さ8mそして、電飾を約5千個で飾り付けたクリスマスツリーを作りました。手探りの状態で始め、何とか点灯式の前日の夕方にクリスマスツリーは完成しました。

点灯式当日は、この時季

には珍しく、朝から天候も良く、風も無く小春日和でした。これなら、点灯式を見に来てくれる人も多くなるだろうと期待しました。しかし点灯式の時刻

し、あつという間に公民館前に広場は、点灯式を見に来て下さった人でいっぱいになり、クリスマスツリーの点灯式は大成功の内に終わりました。その後、1カ月の間、公民館前広場のクリスマスツリーは毎夜点灯し、聖籠の年末の夜を夢の世界にしてくれました。我々、商工会青年部の地域奉仕活動にも自信が付き、今後も地域の活性化のため、活動していきます。

くなるだろうと、期待しました。しかし点灯式の時刻が迫ってきてもなかなか人が増えてきません。我々青年部員の間では、半分諦めかけ始めてました。開始10分前くらいから人が集りだす!



写真のカレー作りは、初めて料理をする子どももいたが、大学生や上級生、親に教えてもらいながら一生懸命な姿がとても印象に残っています。料理も実際に包丁を使ってみなければ上達しないわけで、危ないといってさせないのでなく、一緒に経験させることができ本当に必要であると強く感じました。最近はほとんどまきで煮炊きをする機会はなくなっていますが、キャンプの時に子ども達にも火を燃やす方法を教えてあげるいい機会だと考えております。実際、子ども達は火を燃やす事に非常に興味を示すものです。この機会に火の大切さ、恐さ、むずかしさ等をしっかりと教えて経験させることができます。



写真7 一斗缶カレー作り



写真8 校庭でのカレーパーティ

この写真は卒業生で小学校の先生をしているIさんからの報告で、「校庭で一斗缶カレー作り」の模様です。5年生時の林間学校では、カレー大失敗。みんなまずい、まずいの連発。生煮えのジャガイモ、超スープカレー（薄味）、ご飯がめっこ…、天気もよくない。さらに今年の自然教室では、暴風雨のため野外炊飯中止。本当にかわいそうの一語につきます。そこで、6年担任は意地でも野外炊飯を成功させたいという願いから、学校のグランドでのカレー作りを計画したそうです。それには先生方の強い思いと、一斗缶を使うというアイディア、子ども達のカレー作りを成功させたいという熱い思いが一体となって実施に結びついたと考えられます。一斗缶16個を使って、マキを割り、カレーの具材にもトマトやローリエ、各班で調べたり親に聞いたりもしています。

このように努力のかいがあって、大成功に終わつたそうです。このように野外料理は、なにも遠くまで出かけてやらなくてもアイディア次第で楽しく、また野外というロケーションがよりおいしくしてくれるのです。

キャンプにおいての楽しみのひとつにキャンプファイアー、星座観察、ナイトハイキング、テント泊等を挙げることができます。キャンプファイアーで特筆出来ることは、前回のキャンプに参加した1年生の女子がファイアーに火をつける役である、火の女神に立候補してきたのです。前回のキャンプで火の神、火の女神を見ていて、自分でもやってみたいとのことでした。彼女にとっては、キャンプファイアーは新鮮であり、火の女神は特別な意味を持ったものと考えられます。家からも親からも離れてのテント泊は、子どもにとって不安であり、なにかワクワクするようなうれしいものがあるのです。班毎に6人用ドームテントに入り、シェラフにもぐりこんで今日の出来事や学校のこと、あそびのこと等話はじめており、友達同士や今日はじめて会った子どももいるのですが、ずーと前からの友達のようであり、学年も学校も違う子どもも同士がこのように同じテントで話し睡ることは、キャンプの最大の宝物ではないでしょうか。



写真9 テント撤収



写真10 閉校式

このように新潟大学構内の五十嵐の森キャンプ場を市民の皆様と一緒に活用し、より楽しいキャンプを目指します。皆様も一度おいでください。

生活時間		朝食(7:30~9:00)				昼食(11:30~13:30)				夕食(17:20~19:00)				入浴(17:20~22:30)						
時間帯		5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
初日	晴天					西門集合受付	出発式	出発	到着	開村式	昼食	荷物移動	プロジェクトアドベンチャー	休憩	野外炊飯(カレー)	ミーティングプログラム(わんぱくルーム)	入浴	就寝(スタッフミーティング)		
	雨天														プレイホール(ゲーム)			(ミーティング)ワンパクルーム		
二日目	晴天	起床	集い	朝食	移動	カヌー教室			昼食	カヌー教室		移動	夕食・休憩・入浴	スタンツ練習(班行動)(おやつタイム)				就寝(ミーティング)ワンパクルーム		
	雨天														プレイホール&クラフトルーム			(ミーティング)ワンパクルーム		
三日目	晴天	起床	集い	朝食準備		ウォーカラリー&沢探検		昼食・野外炊飯	焼ソバ			選択プログラム	夕食スタンツ練習	キャンプファイター	入浴	就寝(ミーティング)ワンパクルーム				
	雨天											プレイホール&クラフトルーム			プレイホール(キャンドルサービス)			(ミーティング)ワンパクルーム		
四日目	晴天	起床	準備	集い	朝食	清掃移動		ソバ打ち体験		出発	到着	閉村式	解散							
	雨天							(出来ない人)ジャム作り体験												
備考		・集合、受付、出発式、閉村式は新潟大学西門駐車場 ・送迎車両は西門へ誘導。(要誘導係) ・全日程「テント泊」 ・カヌー用に「濡れても良い靴・水着・水着の上に着るTシャツ・タオル(大・小)」を用意する ・初日の夕食、4日目の昼食以外は食堂などで食事が出る ・必要に応じて活動の節目に飲み物を用意する ・選択プログラムは「クラフト」「昆虫採集」「ストーンペインティング」「写生」「パチンコ作り・的当て」を予定																		

特集

野外キャンプ活動の成功策

新潟大学教育人間科学部
教授 大橋 正春



はじめに

新潟大学が野外でのキャンプ活動で、全国に自慢できるのは大学構内にキャンプ場を持っており、ここで野外活動の授業で学生はもちろんのこと、教職員・地域住民の皆様や子ども達と一緒にキャンプ活動がすぐ実施できることあります。このキャンプ場は、学生をはじめ新潟県野外教育研究会のメンバーが草刈りをして、山桜の木を第2体育館裏から移植したり、新潟市レクリエーション協会の協力を得て、平成13年に「五十嵐の森キャンプ場」と命名して多くの授業や、小中学生等のキャンプを実施しております。かまどや水場も立派なものが整備されており、そこに今年は照明も整備されることになっており、子ども達も安心してキャンプを楽しむことが出来そうです。

最近の学校においては、いじめ・登校拒否等に代表されるように、教育の見直しがなされております。それらの対応策の一つとして野外教育の重要性が挙げられています。学生が集団生活を通して共同的協調的資質を養うことは、教員養成教育にとって重要な課題でありますし、社会体育やレクリエーションとしても野外活動が盛んに取り上げられるようになってきており、学校や教育委員会・公民館、町内会等における生涯スポーツとしてのキャンプ活動は、非常に重要になってくると考えられます。そこで、今回は2、3のキャンプ活動を紹介して、皆様の参考になれば幸せです。

①新潟大学公開講座小中学生キャンプ教室

平成13年度より新潟大学教育人間科学部公開講座として、小中学生キャンプ教室を実施しております。これは、現代の子ども達に不足がちな直接体験を、キャンプにおけるテント泊、野外炊事、クラフト、カヌー、沢探検、キャンプファイア、星座観察、そば打ち体験等の自然体験活動を通して経験させて、自然を理解するとともに、共同生活により社会性の向上を目指し、豊かな人間性を養うことを目的としました。最近ではなかなか異年齢間での交流がないので、小学4年生から中学3年生までの男女混合班として3泊4日の日程で、すべてテント泊で実施しております。参加者については、このキャンプ教室が始まった頃には中学2年生までとしていましたが、リビーターが増えてきて年を追う毎に、「中学3年になってしまうが是非来年も参加したい」との強い要望によって中学3年生までとしています。このように参加者が大きくなって新潟大学に入學して、キャンプのカウンセラーとして育ってくれることを強く願っておりますし、事実今年の3月に卒業してしまいましたが、キャンプ教室でカウンセラーとして4年間活躍して下さいました。

キャンプ活動で特に強調したいことは、子ども達と寝食を共にして、プログラム補助、安全管理等をする



写真1 クモの巣



写真2 沢探検

各班の学生カウンセラー8名の重要性を挙げることができます。さらに、健康管理や安全管理を担当する看護師の存在は非常に大きく、このキャンプ教室には不可欠な係であり、特別別科の学生が毎年担当してくれます。その他の係としては、キャンプディレクターとして教員2名が総括しております。また、このキャンプ教室では基本的には班単位で活動して、選択プログラムでは、子ども達が自分の好きなものを自由に選んでおり、写真にもあるように、夢中で生き生きとした顔がとても印象に残っています。



写真3 カヌー



写真4 クラフト（パチンコ）

どの活動にも言えることですが、基本的には主催者側も参加者もすべてが心から楽しむ姿勢が大切ではないでしょうか。

②五十嵐の森チャレンジャー・キャンプ

このキャンプは平成17年度より、それまでのファミリーキャンプを小中学生を対象に変更したものであります。もちろん希望する親の参加も可能です。やはり大学構内にあるキャンプ場を利用するので、近隣の子ども達も集まり易いのです。小学3年生以下は保護者同伴にしているのと、家族で参加するグループもあって、また心配そうに子どもだけキャンプ場に置いて帰る親の姿も印象的ありました。受付をして14時頃に開講式を始め、参加者を6班に分けて自己紹介をしてキャンプがスタートしました。まず初めに、アウトドアゲームとしてプロジェクトアドベンチャーを実施しました。このゲームは班全員の協力がないと成功しないので、初めて会う子ども達も協力してすぐに仲良くなれるので、プログラムとしては、早い時期に実施するのがよいでしょう。



写真5 親子でカレー作り



写真6 タイヤの木

実践記録

シリーズ

112

アートキャンプ in 胎内 2006

胎内市教育委員会 生涯学習課 文化・文化財係主任 伊東 崇

はじめに

子どもは、家庭、地域、学校環境の中で成長していく、親はその成長の姿を微笑ましく見守っていますが、その成長過程において「考える力」「感性の広がり」を身につける機会や、異文化の人たちと出会い、国際理解をしていくことは大切なことといえます。

そんなことから、子どもたちにとって新たな自分を発見し、全ての体験を通して、「考える力」「感性の拡がり」「国際理解」を身に付けてもらえればと思いこのアートキャンプを実施しました。



事業の内容

アートキャンプでは、縄文野焼きの土器作りから始まり、海辺や山間に存在する普段見過ごしている流木・漂流物や岩石・木などの自然の素材を自らの手と感性で、絵画やオブジェなどの作品を創作しました。

胎内市教育委員会が主催となって実施し、参加者25名（小5～中2胎内市7名、新潟市15名、阿賀野市1名、村上市1名、米国1名）で、平成18年7月28（金）～8月3日（木）までの7日間、胎内平キャンプ場をベースキャンプに、市内の海岸～山間周辺で活動を行いました。

体験指導には、郷土出身（旧黒川村）のアーティストで、現在アメリカロサンゼルスで活動している大平實氏をリーダーに、マイケル・マクミラン（インスタレーション）、マイク・ジョンソン（彫刻、立体）、フィリップ・リンハレス（絵画など）、ラウール・バルタザール（壁画）、ケン・タカハシ（陶芸）、いずれもアメリカ在住のアーティスト各氏を迎える、市の教育関係者、市民ボランティア、方々の協力を仰ぎました。

また胎内市には自然や動植物などを観察体験できる施設や、地域の歴史文化を体験できる施設が多くあり、その中で、胎内彫刻美術館、黒川郷土文化伝習館、胎内自然天文館、胎内昆虫の家の協力で体験を実施しました。

成果について

今回が初めての実施で、プログラムも盛り沢山の観がありました。先ずは、参加者全員が無事に全スケジュールを完遂したことは、成功と捉えて充分なことです。

予想を上回る参加者本人の体力、精神力もさることながら、全行程にわたるアーティストをはじめとする関係者の細やかな気配り、手配により、参加者が潜在的に持っている力を予想以上に引き出すことができ、アーティストと子ども達双方が対等な役に成り



得たと思います。アーティストとのコミュニケーションが毎日親密になり、各自の創作イメージの膨らみにつながったといえます。アーティスト達との生きた英語によるコミュニケーションもできました。

カヌー体験などでは、準備、始末などの助け合い作業で連帯感が強まり、想定以上の良い結果をもたらしたといえます。スローフードも楽しみながら行われ、自主的な活動となり、食育を無意識に感じていたように思えます。



課題

市内の子どもたちの参加が少ない点は、募集方法、内容などを煮詰める必要があると思います。地域の子どもの視線で、内容を検討していく必要があると思います。

作品を作るところを子ども達に見せるところからも、子ども達が大いに学ぶところがあり、アートキャンプの大きな意味でもありました。アーティスト自身の自作のための時間が少なかったように思います。このアートキャンプは、ある意味においては、充実したプログラムではありますが、もう一方では、無駄が無さ過ぎた観があります。一見、無駄と思われる時間であっても、モノを創造する上においては、重要な時間といえます。

この構想に関しては、また、別のステージで考察を深めて実施することが肝要と思われます。

竹細工による食器づくり：下越スポーツハウス小体育館青竹で、キャンプ中各自が食器として使う皿、コップ、箸などを作る。

アートキャンプ参加者：彫刻美術館

縄文土器 土偶づくり：市内の粘土と山砂を練り合わせ、土器 土偶の野焼き。

奥胎内 自然散策：奥胎内胎内川河原を自然散策、流木、石片、木の葉などのオブジェの素材を収集。

カヌー体験：前後の準備、片付けの共同作業は連帯感を強くする。

グループ共同制作モニュメント制作：彫刻美術館周辺



心と体の健康づくりに ダンスが最適

三和ダンス親友会

私たち上越三和区ダンス親友会は、平成十年当時三和公民館事業活動に入れていたとき、それ以来ずっと今日まで自主活動を毎週月曜日行っています。

活動の目的は生涯学習の一環として、心と体の健康づくりにみなさんが喜んでいただいております。ダンスの一一番の花形はワルツそしてタンゴ、ルンバ、チャチャチャでしあうね。指導者が最初に注意されることは正しい姿勢の組み方、私たちの体は長い生活習慣やクセによってゆがん

でいます。背中が丸まっていることなど、最近レッスンで自分の姿を見て知ることが楽しくなりました。

公民館施設の利用については、職員の方も親切に対応して下さるので喜んで今後もつなげて行きます。

(上越市・三和ダンス親友会
井澤 幸夫 記)



韓国が知りたくて…

吉兆

昨年出来たてのサークルです。会員は老?若?男女十一人のスタート。韓国語を習うきっかけは人それぞれですが、お仕事で使われる方、韓流ブームで興味を持った方、第二外

(燕市・吉兆
代表 藤井 郁夫 記)

国語として勉強しようと思う方、旅行に役立てようと思う方等色々です。

皆が同じなのは、韓国について興味があると言うことはないでしょうか?また、韓国の今現在の状況を先生から教えてもらったり、日本との違いを聞いてみたり、語学の勉強するついでに風習文化の互いの理解を深めたり、楽しい時間を過ごしています。

公民館職員若手期待の星!といえば、小柳加奈子主事です。持ち前の明るさと、どんどん前に進むパワー、そして輝く笑顔で公民館を盛り上げています。

担当は乳幼児・保護者対象の「ぽっぽ学級」から、英会話・成人式までと幅広くこなしています。小柳さんが担当した教室はどれも人気になるというジンクス(?)があり、

田上町公民館

主事 小柳 加奈子さん

これもなにより彼女の「人の心をグッと驚きにする」という特技のなせる技だと思っています。

そんな素敵なお姉さんに、ハートを驚きにされたい!と思っている独身男性!ぜひ田上町公民館までお越しください。輝く笑顔の彼女が迎えてくれることでしょう!

(生涯学習係 主査 諸橋 弘樹 記)



彼は昨年、財政課から生涯学習・体育課に異動になり、主に高齢者学級を担当しています。

1年目から物腰のやわらかい口調と優しい微笑みで高齢者学級生を魅了し、さながら「ヤマ様」といった感じで慕われています。(マダムキラー?)

また、財政課の切れ者と言われた片鱗を見せ、今まで苦労していた課の財務会計関係の相談に行くとすぐ

柏崎市教育委員会生涯学習・体育課学習推進係

主査 山田 修さん



教えてくれるので、とても頼りにしています。

そんな彼にも隠された秘密があり、1つは出身が岩手県なこと。東北弁を封印?しているせいしか少し日本語が変です。(喋ると話の最後に「はい」と言います。)もう1つはお酒が入ると彼最大の秘密がベールを脱ぎます。これがなかなかスゴイ!

今度機会があれば是非誘ってみてください。
(柏崎市教育委員会 学習推進係 春日一浩 記)

戦後の混乱期、青年団と共に地域の文化向上・地域づくり推進のためにご尽力された功績は大なるものがあります。公民館活動も大きなご支援をいただきて來たところです。ここに創立60周年を迎えたことに、心よりお祝い申上げます。

記念誌の内容は、まずござつ、ご祝辞について、1.



(財)新潟県下越婦人会館移転式典、2.新潟県婦人連盟の活動、3.新潟県婦人連盟の事業、とくに目につくのは、

地域発「ハート to ハート」です。地域ボランティア活動と青少年の健全育成の実績、4.思い出あれこれ、5.新潟県婦人連盟10年間の歩み等から構成されております。やがて60周年を迎えます当新潟県公民館連合会ですが、今後の貴重な参考資料とさせていただきます。

新潟県公民館月報の自主購読の推進が一向にはかばかしくありません。市町村合併による公民館数及び公運審委員の減少によるものと思われます。(鈴木記)

正いたします。
籠一→竜一へ
訂正とお詫び

古来、人々は、夜空をみつめてきました。星に想いをよせ好奇心を抱き宇宙の神秘に魅せられてきたのです。そうした中で、人々は望遠鏡を作りだし「遠い星をもっと間近に見てみたい」という思いで進化させていきます。また、人々は、「天空の仕組みを解き明かしたい」という想いから宇宙モデルを描き、プラネタリウムなどの機械を発明しました。そして現在でもなおリアルな星空や宇宙の再現を目指して進化し続けているのです。

当展示は、広大な宇宙をとらえるために進化してきた「プラネタリウム」と、「天体望遠鏡」にスポットをあて、その仕組みと歴史を実感していただけるような流れになっています。

料金	項目	小・中学生	大人
	入館料	100円	550円
	入館料+プラネタリウム観覧料	200円	750円

7月の休館日は、2日(月)、9日(月)、17日(火)、18日(水)です。
※夏休み期間中(7月21日から9月2日)は、開館時間午前10時~午後6時になります

惠贈資料紹介 60周年記念誌 2006

新潟県婦人連盟

Net work

県公連第1回編集委員会開催

第1回編集委員会が下記により開催されました。

一 記

- 1 日時 平成19年6月27日(水) 13:30~15:30
2 会場 新潟市生涯学習センター 404講座室
3 内容 (1) 新潟県公民館月報

平成19年度原稿執筆割当て計画について
(2) 同月報紙面の特徴について
(3) 同月報平成19年10月号~平成20年3月号の特集について
(4) 次期編集委員会の期日について

平成19年度 編集委員名簿

氏名	所属
1 尾組晃	新潟県立生涯学習推進センター 学習振興課 副参事
2 ○小池和美	上越市立公民館 直江津地区公民館 主任
3 ○早川洋介	見附市中央公民館 館長
4 ○田村久芳	湯沢町公民館 館長
5 宮内勝也	五泉市公民館 主査
6 樋口栄子	新潟市北地区公民館 主幹
7 監物みどり	新潟市中央公民館 社会教育主事

○印、新任

event information

平成19年7月の催物ご案内

7月21日(土)~9月2日(日)
星空にあこがれて~
プラネタリウムと望遠鏡展(夏の特別展)

プラネタリウム夏番組(6/23~9/9まで)
かいげつソロリ~宇宙たんけん大さくせん~

修行の旅を続けるゾロリたちは、ある日アーサー王子が金を探すために宇宙へ出かけることを知ります。お宝の横取りを思いついたゾロリは、ガラクタを集めて作ったロケットで、アーサー王子のシャトルを追いかけて宇宙へ出発! ゾロリたちは、まんまとアーサー王子を出し抜くことに成功し、黄金色に輝く星に着陸します。ところが、その不思議な星でゾロリたちを待ち受けていたものは…?

はくちょう座、さそり座、夏の大三角など、夏を代表する星座や美しい星空も紹介します。

- 幼児、障害者手帳をお持ちの方は無料です。
- プラネタリウムを観覧される場合は入館料が必要です。
- 20名以上(有料入館者)の団体は割引制度があります。

お問い合わせ先
新潟県立自然科学館

電話 (025) 283-3331
FAX (025) 283-3336